## **事務事業マネジメントシート**

南アルプス市	平成	24	年度()	兼)予算編成	`資料•実施	計画資料	作月	<b>戊日 H</b> 2	5 年	2	月	25 日代	F成
	·			<u>ポップ 昇 福 次                                 </u>		所属部局	建設部		È	単位番号		7067	
事務事業名					` 」実施計画事業	所属課室 所属担当		市計画課 方整備担当		課長名 旦当者		齊藤 中島	<u>貞文</u> 司
基本政策	基 III	[	うるおいと利便性	このある都市づく(		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
	本 計 13	3			,	17 并14 口	01 口国(	一般 の制度による	08 義務的	04	03 <b>□</b> 施	020 設等維持	03 管理事業
以中	画		都市空間の整備			事業区分	_	の制度による			□ 補	助金交付	事業
<b>施策</b>				□ 市の制度による義務的事業 ☑ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金									
事業期間		■度の∂ 間限定数		☑(開始年度 15 ~ 24	年度) 年度)	法令根拠							
事事業の内容・・・期						事業費の主	な内訳	( 24年度	決	算見込	) 4m <del>(**</del> *)		#/~ m\
			決定され、スポーツ、ノ			<mark>項目(細算</mark> 用地取得費	卯)	金額(千円 2,5 <sup>2</sup>	) 14	. 垻月(	<b>袖即</b> )	金 金	質(千円)
業 て整備をはじめ、平 の 県地域防災計画で				或した。 その後、 平	成13年度に山梨								
概 2 事業の内訳			易用地(462.4㎡)をl	U15~94年 唐で再	<b>町得する</b>						 .,		
要     土地開発公社により       1 現状把握(D(			<b>加川 元 (402.4 III / 元 )</b>	1113 24十及(行)	松14 )。					Ē	†		2,544
(1) 事務事業の目的													
①活動	十地開	発公社	から再取得(h24年月	<b></b>		5 活	動指標	<mark>(事務事業の</mark> 名称	活動量	量を表す	指標)	数字は記 単位	入しない 立
24年度活動実績				→ ア櫛	形総合	名称 公園の用地	取得	面積		ha			
25年度活動予定						1							
② 対象(この事務事	業は誰	€、何を	対象にしているの	<u>Dか) * 人や自然</u>	資源等	<u>⑥</u> 対	象指標	<mark>(対象の大き</mark> 夕称	さを表	す指標	数字に	<mark>は記入しな</mark> 単化	<del>.</del> た
市民						→ ア 櫛	形総合	名称 公園の全体	計画	面積		ha	
公園利用者													
③ 意図(この事務事業	により	対象を	どのような状態にし	ていくのか、どのよ	うに変えるのか)	<b>⑦ 成</b>	果指標	(対象における タギ	意図0	D達成度	を表す打	<mark>請標)数字[</mark> 単 (	は記入しな
市民が快適に安らぐこと	・のでき	スル圏の	の敷借を行う			<b>→</b> ア 櫛	形総合	<b>名称</b> 公園の整備	率			平1 %	<u>У</u>
市民が「八週に女り、こと	.07 ( 67		ク正開でける。			<del>-                                    </del>							
④ 上位目的(どのよ	うな結	果に結	が付けるのか)				位成果	指標(結果の	達成	度を表す	「指標)	数字は記 単化	入しない
古代代代												里1	V
			列を持つ、防災公園	として整備を行い、	市民が安心して快		園や子ど	<b>名称</b> らの遊び場に関	する住	民の満足	度	— — <u> </u>	<b></b>
適に安らぐことのできる。						<b>→</b> 1	園や子ど	の遊び場に関	する住			%	)
	ようにす		利を持つ、防災公園 23年度 (決算・実績)	として整備を行い、 <b>24年度</b> (決算見込・実績)	市民が安心して快 <b>25年度</b> (予算・目標)				する住	民の満足 <b>28年</b> (計画・E	度		年度コスト・目標
適に安らぐことのできる。 (2) 事業費・指標の指 年 財 国庫支出	はうにす <b>達移</b>	る。 単位 千円	23年度	24年度	25年度	<b>⇒</b>		の遊び場に関 <b>27年度</b>	する住	28年	度		年度
適に安らぐことのできる。 (2) 事業費・指標の指  (2) 事業費・指標の指  (3) 事業費・指標の指  (4) 事業費・指標の指	ようにす <b>移</b> 出金 金	る。 単位 千円 千円	23年度	24年度	25年度	<b>⇒</b>		の遊び場に関 <b>27年度</b>	する住	28年	度		年度
適に安らぐことのできる。 (2) 事業費・指標の指 年 財	ようにす <b>注移</b> 出金 も	る。 単位 千円	23年度	24年度	25年度	<b>⇒</b>		の遊び場に関 <b>27年度</b>	する住	28年	度		年度
適に安らぐことのできる。 (2) 事業費・指標の指  年 事 財 国庫支出	はうにす <b>18</b> 金 <b>18</b> 金 <b>19 19 19 19 19 19 19 19</b>	る。 単位 千円 千円 千円 千円 千円	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込·実績) 2,544 2,544	25年度	<b>⇒</b>		27年度 (計画·目標)	1する住 1 1 0	28年	度		年度
適に安らぐことのできる。 (2) 事業費・指標の指標の指標の指標を表現である。 (2) 事業費・指標の指標を表現である。  「中間トータルーでもの。」 「中間トータルーでもの。」 「中間トータルーでもの。」 「中間トータルーでもの。」 「中間トータルーでもの。」 「中間トータルーでは、一般計画を表現できる。	はうにす <b>18金</b>	る。 単位 千千千千千 千千千 時間	23年度 (決算·実績) 2,579 2,579 2,579 1 6	24年度 (決算見込·実績) 2,544 2,544 1 6	25年度 (予算·目標)	<b>⇒</b>	[標]	27年度 (計画·目標)		28年	度		年度□スト・目標
適に安らぐことのできる。 (2) 事業費・指標の指標の指標の指標を表現である。 (2) 事業費・指標の指標を表現である。  「中間トータルーでもの。」 「中間トータルーでもの。」 「中間トータルーでもの。」 「中間トータルーでは、一般計画を表現では、一般計画を表現である。」 「中間トータルーでは、一般計画を表現できる。	はうにす <b>18金</b>	る。 単位 千千千千 千千 時 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	23年度 (決算·実績) 2,579 2,579 1	24年度 (決算見込·実績) 2,544 2,544 1 6 24	25年度 (予算·目標)	<b>⇒</b>	[標]	27年度 (計画・目標)		28年	度		年度□スト・目標
適に安らぐことのできる。 (2) 事業費・指標の指  年間 事業費 切別 「中間 事業費 「中間	は <b>1</b> 金 <b>1</b> 金 <b>5</b> <u>り</u> 源 (A) 間 B) ア	る。 単位 千千千千千 千千千 時間	23年度 (決算·実績) 2,579 2,579 1 6 24	24年度 (決算見込·実績) 2,544 2,544 1 6	25年度 (予算·目標) 0	<b>⇒</b>	0 0	27年度 (計画・目標)	0	28年	度 (14年)		年度 コスト・目標 0
適に安らぐことのできる。 (2) 事業費・指標の指標の指標の指標を表現である。 (2) 事業費・指標の指標を表現である。  「中間トータルーでもの。」 「中間トータルーでもの。」 「中間トータルーでもの。」 「中間トータルーでは、一般計画を表現では、一般計画を表現である。」 「中間トータルーでは、一般計画を表現できる。	まうにす <b>1</b> 金 <b>1</b> 金 <b>1</b> 金 <b>1</b> 第 <b>1 1 2 3 3 5 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5</b>	る。 単 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	23年度 (決算·実績) 2,579 2,579 1 6 24 2,603	24年度 (決算見込·実績) 2,544 2,544 1 6 24 2,568	25年度 (予算·目標) 0	<b>⇒</b>	0 0	27年度 (計画・目標)	0	28年	度 (14年)		年度 コスト・目標 0
適に安らぐことのできる。  (2) 事業費・指標の指標の指標の指標を対象を表す。  (2) 事業費・指標の指標を対象を表す。  (3) 事業費・指標の指標を対象を表す。  (4) 事業費・表の作財・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	まうにす <b>1 金</b>	る。 単 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	23年度 (決算·実績) 2,579 2,579 1 6 24 2,603	24年度 (決算見込·実績) 2,544 2,544 1 6 24 2,568	25年度 (予算·目標) 0	<b>⇒</b>	0 0	27年度 (計画・目標)	0	28年	度 (14年)		年度 コスト・目標 0
適に安らぐことのできる。 (2) 事業費・指標の指  年間 事業費 切別 「中間 事業費 「中間	まうにす <b>移金</b> ・	道 単位 千円 千円 千円 八間 千円 十五 十五 十五 十五 十五 十五 十五 十五 十五 十五	23年度 (決算·実績) 2,579 2,579 1 6 24 2,603 16.0	24年度 (決算見込·実績) 2,544 2,544 1 6 6 24 2,568 16.0	25年度 (予算·目標) 0	<b>⇒</b>	0 0	27年度 (計画・目標)	0	28年	度 (14年)		年度 コスト・目標 0
適に安らぐことのできる。  (2) 事業費・指標の指標の指標の指標を対象を表す。  (2) 事業費・指標の指標を対象を表す。  (3) 事業費・指標の指標を対象を表す。  (4) 事業費・表の作財・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	まうにす <b>移金</b> <u>源(A)</u> <u>アイウァイウァ</u>	る。 単位 H H H H H H H H H H H H H	23年度 (決算·実績) 2,579 2,579 1 6 24 2,603 16.0	24年度 (決算見込·実績) 2,544 2,544 1 6 24 2,568 16.0	25年度 (予算·目標) 0	<b>⇒</b>	0 0	27年度 (計画・目標)	0	28年	度 (14年)		年度 コスト・目標 0
適に安らぐことのできる。  (2) 事業費・指標の指標の指標の指標を出場している。  (2) 事業費 財源内訳 事業費 大の制 事規 選 大の 明 事 規	まうにす <b>移金 (A人間B) アイウアイウ</b>	道 単位 千円 千円 千円 千円 千円 十円 十円 十円 十円 十円 十円 十円 十円 十円 十	23年度 (決算·実績) 2,579 2,579 1 6 24 2,603 16.0	24年度 (決算見込·実績) 2,544 2,544 1 6 6 24 2,568 16.0	25年度 (予算·目標) 0	<b>⇒</b>	0 0	27年度 (計画・目標)	0	28年	度 (14年)		年度 コスト・目標 0
適に安らぐことのできる。  (2) 事業費・指標の指標の指標の指標を対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	まうにす <b>移金 (A人間) アイウアイウアイ</b>	が 単位 千円 千円 千円 大間 千円 ト間 千円 ト間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23年度 (決算·実績) 2,579 2,579 1 6 24 2,603 16.0	24年度 (決算見込·実績) 2,544 2,544 1 6 24 2,568 16.0	25年度 (予算·目標) 0	<b>⇒</b>	0 0	27年度 (計画・目標)	0	28年	度 (14年)		年度 コスト・目標 0
適に安らぐことのできる。  (2) 事業費・指標の指標の指標を出り、	まうにす	る。 単位 千千千千千千八時 千千円 中田 中田 中田 中田 中田 中田 中田 中田 中田 中田	23年度 (決算・実績) 2,579 2,579 1 6 24 2,603 16.0 100.0	24年度 (決算見込・実績) 2,544 2,544 1 6 24 2,568 16.0 100.0	25年度 (予算·目標) 0 0	→	0 0 0	27年度 (計画・目標)	0000	28年 (計画·E	<b>度</b>	% 最終 (トータル:	年度 コスト・目標 0 0 0
適に安らぐことのできる。  (2) 事業費・指標の指標の指標の指標を出場している。  (2) 事業費 財源内訳 事業費 地元の財 事業職業業費 人件費 人件費 人件費 大田 「一一の財」 事業 は、 一一の財 「一一の財」 「一の財」 「一のり」 「「一のり」 「「「」」	は 金	単位     千千千千千八時千千八時千千八時千千八時千千八日時       十十千千八時     千千千千八日時       十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	23年度 (決算・実績) 2,579 2,579 1 6 24 2,603 16.0 100.0	24年度 (決算見込・実績)  2,544 2,544 1 6 24 2,568 16.0 100.0 100.0	25年度 (予算・目標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 8 8 8 8 8 8 8 8 8	26年度(次年度計画・目	0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	27年度 (計画・目標)	0000	28年 (計画·E	<b>度</b>	% 最終 (トータル:	年度 コスト・目標 0 0 0
適に安らぐことのできる。  (2) 事業費・指標の指標の指標の指標を対して、	は 1 金 (	る。 単 千千千千千 時 千千 ha ha % 況 (	23年度 (決算・実績) 2,579 2,579 1 6 24 2,603 16.0 100.0 対象者・社会状況 章で開始されたの	24年度 (決算見込・実績)  2,544 2,544 1 6 24 2,568 16.0 100.0 100.0	25年度 (予算・目標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 8 8 8 8 8 8 8 8 8	26年度(次年度計画・目	0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	27年度 (計画・目標)	0000	28年 (計画·E	<b>度</b>	% 最終 (トータル:	年度 コスト・目標 0 0 0
適に安らぐことのできる。  (2) 事業費・指標の指標の指標を出場して、	は 1 金 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	る。 単 千千千千千 時 千千 ha ha % 況経 時今、	23年度 (決算・実績) 2,579 2,579 1 6 24 2,603 16.0 100.0 対象者・社会状況 なで開始されたの または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会	24年度 (決算見込・実績)  2,544 2,544 1 6 24 2,568 16.0 100.0 100.0  2等) の変化、市E 平成14年度公園の 年度にかけて再取 当時、土地開発公	25年度 (予算・目標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 8 8 8 8 8 8 8 8 8	26年度(次年度計画・目	0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	27年度 (計画・目標)	0000	28年 (計画·E	<b>度</b>	% 最終 (トータル:	年度 コスト・目標 0 0 0
適に安らぐことのできる。  (2) 事業費・指標の指揮車支出情報車支出情報車支出情報車支出情報車支出情報車支出情報車支出情報車支出情報	は (A) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	る。 単 千千千千千 時 千千 ha ha % 況経 一 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別	23年度 (決算・実績) 2,579 2,579 1 6 24 2,603 16.0 100.0 対象者・社会状況 なで開始されたの または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会	24年度 (決算見込・実績)  2,544 2,544 1 6 24 2,568 16.0 100.0 100.0  ### 100.0 100.0  ### 100.0	25年度 (予算・目標) 0 0 0 0 0 0 2意見等 P拡張に伴い土地 得をしている。 社と協定を結び再	⇒ プログロック 26年度 (次年度計画・E	0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	27年度 (計画・目標)	0000	28年 (計画·E	<b>度</b>	% 最終 (トータル:	年度 コスト・目標 0 0 0
適に安らぐことのできる。  (2) 事業 書	は	る。 単 千千千千千 時千千 ha ha % 況経経時を記せる。	23年度 (決算・実績) 2,579 2,579 1 6 24 2,603 16.0 100.0 100.0 対象者・社会状況 章で開始されたの または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会 られているか?	24年度 (決算見込・実績)  2,544 2,544 1 6 24 2,568 16.0 100.0 100.0 100.0  上等)の変化、市E 平成14年度公園の 年度にかけて再取 当時、土地開発公 特にない。  取り組み	25年度 (予算・目標) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 8 8 8 8 8 8 8 8 8	⇒ プログロック 26年度 (次年度計画・E	0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	27年度 (計画・目標)	0 0 0 0 0 0	28年 (計画・E	<b>度</b>	% 最終 (トータル:	年度 コスト・目標 0 0 0
適に安らぐことのできる。  (2) 事業費・指標の指揮車支出情報車支出情報車支出情報車支出情報車支出情報車支出情報車支出情報車支出情報	は	る。 単 千千千千千 時千千 ha ha % 況経 始今民せ 2 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3	23年度 (決算・実績) 2,579 2,579 1 6 24 2,603 16.0 100.0 100.0 対象者・社会状況 幸で開始されたの または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会 られているか?	24年度 (決算見込・実績)  2,544 2,544 1 6 24 2,568 16.0 100.0 100.0  ### 100.0 100.0  ### 100.0	25年度 (予算・目標) 0 0 0 0 0 0 2意見等 P拡張に伴い土地 得をしている。 社と協定を結び再	⇒ プログロック 26年度 (次年度計画・E	0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	27年度(計画・目標)	0 0 0 0 0 0	28年 (計画・E	<b>度</b>	% 最終 (トータル:	年度 コスト・目標 0 0 0

事務事業名	櫛形総合公園用地再取得事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課				
2 評価(Check1)担当者によ	<b>る事後評価</b> (複数年度事業は途中評価	<b>(E</b> )							
①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系 施策に結びつき、貢献しているか?系 が上位目的に結びついているか?	<ul><li>結びついていない(見直し余地がある)</li><li>結びついている ⇒【理由↓】</li><li>「安らぎ空間の整備」の中で道路整備時の残いる。</li></ul>	⇒【理由↓】 ⇒ 3	を設置し有効利	用していくとあり、					
目②公共関与の妥当性的この事務事業を税金を投入して市が妥わなければならないのか?当当日間はNDO・大田は関係を表する。	<ul> <li>見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映</li> <li>✓ 妥当である ⇒【理由↓】</li> <li>公共の施設であるため。</li> </ul>								
性 民間やNPO、市民協働に移行するこ 評 は可能か?	事務事業の全部もしくは一部を外部に移行	することが可能である。	□ 民間・NPO	□市民情	<b>劦働</b>				
価 ③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、 の事務事業を将来にわたり、維持・組 していくことは妥当か?目的や事業の 要性を見直す余地はあるか?	<ul><li>見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映</li><li>適切である ⇒【理由↓】</li><li>特に見直す余地はない。</li></ul>								
④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上さ ことはできるか?できない場合は何か 因でできないのか?		↓】 ⇒ 3評価(		ጵ後の方向性に					
有   ⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能	竹  類似事務事業がある ⇒(類似する事務)	§事業の名称を記入↓)							
効 性 類似した目的を持つ事務事業が他に 記 部 事務事業との統合や連携を図ることに きるか?	<mark>の                                     </mark>	<ul><li>✓ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】</li><li>債務負担行為をとった償還業務であるので他の事業と統合連携は不可能である。</li></ul>							
⑥ 休止・廃止した時の影響及び 止・廃止の可能性	木 ▼ 影響なし □ 影響あり → 【理由と影響の内容 】 ・ 優務負担行為をとった償還業務であるのでも	】 <b>▽</b> þ		、 →【理由↓】	で休止・廃止はできな				
⑦ 事業費の削減余地 効成果を下げずに事業費(コスト)を削減をないか?(仕様や工法の適正化、低	□ 削減余地がある ⇒【理由・具体: □ 削減余地がない ⇒【理由↓】  「債務負担行為をとった償還業務である。	案↓】 ⇒ 3評·	西(Check2)・	4今後の方向性	に反映				
性 部 人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できない か?(事業のやり方の見直しによる等時間の削減や臨時職員対応や外部による削減はできるか?)									
公 ⑨ 受益機会・受益者負担の適正化会 平 性 事務事業の内容が一部の受益者に付 にいないか?受益者負担を見直す必 価はないか?公平公正か?	<ul><li>✓ 公平・公正である ⇒【理由↓】</li><li>公共の施設であるため問題ない。</li></ul>	案↓】 ⇒ 3評	価(Check2)・	4今後の方向性	:に反映				
3 評価(Check2)担当課管理	者による評価結果と総括								
(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☑ 適切 □ 見 ② 有効性 ☑ 適切 □ 見 ③ 効率性 ☑ 適切 □ 見 ④ 公平性 ☑ 適切 □ 見	再取得を行った。財政上の者 了するが、これからは、このよ 直し余地あり	取得する手法として、土 『合であるため、当時と『	:地開発公社に公 しては最適の方法	∖園用地を取得し <sup>~</sup> 去であったと考えら	てもらい10年の分割で				
4 今後の方向性(事務事業担当	·····································								
(1) 今後の事務事業の方向性(Che	ck1の結果から定める)・・・複数選択可			改革・改善によ	る方向性				
□ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)				<u> </u>					
□ 休止(目的妥当性①、②、③の結果)		☑ 現状維持(全評価項	目で適切)	_   ¾	コスト水準				
□ 必要性検討(目的妥当性①、②、③0		1. 削減	維持 増加						
<mark>(2)改革改善案について</mark> ① ② ③				成果水準					
(4) お某事業と中国ナストを駆する	でき		/-		の場合は記入不要				
(4) 改革改善を実現する上で解決す ① ② ③	へさ眯趄とその解決策			)事務事業優先 :果優先度評価組					

コスト削減優先度評価結果